

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る / 学ぶ / 訪ねる /
武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
【電話】 042-323-4103 【FAX】 042-300-0091
【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp
【HPアドレス】
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2017.9
第32号



日本多家住宅長屋門保存修理工事完了のお知らせ

平成 27 年 9 月から平成 29 年 9 月にかけて、おたかの道湧水園入口にある市重要有形文化財（建造物）日本多家住宅長屋門の保存修理工事を行いました。この長屋門については、弘化 5（1848）年の注文書を基に、縁側や便所がなく、茅葺屋根という仕様での復元を予定していました。しかし、解体調査で部材の痕跡を調査した結果、保存修理工事前の建物構造が、建築当初からのものであったことが判明したため、既存材をより活かす方向での復元となりました。同じく市重要有形文化財（建造物）である日本多家住宅倉についても、平成 29 年度に屋根や犬走りを修理しました。

工事の完了とともに、見学者のおたかの道湧水園の入口は長屋門正面門扉に変更となります。武蔵国分寺跡資料館 2 階のふるさと文化財課へは、長屋門西側（正面向かって左）に新しく設置した通用口からお入りください。また、縁側周りの空間を確保するため、これまで通用口として使用してきた長屋門東側は輸送や緊急時などの管理車両用入口として使用します。

長屋門建物内の一般公開は平成 30 年 4 月の予定ですが、現在も外側からの見学は可能です。生まれ変わった長屋門・倉をぜひともご覧ください。



長屋門外観（南から）



長屋門外観（北から）





武蔵国分寺跡資料館 平成 29 年度秋季企画展

「南比企窯跡群の須恵器と武蔵国分寺」【国分寺市・鳩山町連携事業】

【国分寺市会場】

- 会場：武蔵国分寺跡資料館 講座室
- 期間：平成 29 年 10 月 15 日 (日) ~ 11 月 30 日 (木)
- 開館時間：午前 9 時~午後 5 時
(入館は午後 4 時 45 分まで)
- 入館料：「おたかの道湧水園」への入園料が必要
- 休館日：月曜日

【鳩山町会場】

- 会場：鳩山町中央公民館 1 階ロビー
(埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼 1715-1)
- 期間：平成 29 年 12 月 5 日 (火) ~ 12 月 15 日 (金)
- 開館時間：午前 9 時 30 分~午後 4 時
(最終日は午後 1 時まで)
- 休館日：月曜日
- 入館料：無料
- お問い合わせ先：鳩山町教育委員会 049-296-3862

天平 13 年 (741 年)、聖武天皇によって国分寺建立詔が發布され、古代日本の仏教政策における国家プロジェクトが始動します。全国 60 余りの国々に国家仏教の地方拠点としてふさわしい大伽藍^{がらん}が建てられていきます。

国分寺市には市名の由来となる武蔵国分寺が建立されました。当時の技術の粋を集めて進められた国分寺造営の際に、瓦や須恵器生産といった窯業分野の一翼を担っていたのが、埼玉県鳩山町を中心とする東日本最大級の規模をもつ南比企窯跡群^{みなみひきやうせきぐん}でした。

この企画展は、国分寺市と鳩山町の古代における歴史的なつながりを通じた連携事業として、生産地から消費地へと供給された南比企窯跡群産の須恵器をテーマに開催します。南比企窯跡群の工人の手によってつくられた多種多様な須恵器とその生産工程や窯跡群の展開について触れ、武蔵国分寺等にもたらされた須恵器から寺の運営に係る施設や携わる人々の様子の一端をご紹介します。



南比企窯跡群 (小谷 B 地区) 発掘調査地遠景



武蔵国分寺跡他出土の南比企窯跡群産須恵器



南比企窯跡群出土の須恵器



武蔵国分寺跡出土の大型甕

おたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館等の
休園・休館日の変更のお知らせ

平成 29 年 10 月 10 日（火）はおたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館・史跡の駅・文化財資料展示室が休園・休館日となりますが、国分寺薬師堂に安置される木造薬師如来坐像（国重要文化財）の年一回の御開帳に合わせて開園・開館します。

なお、翌 10 月 11 日（水）を休園・休館日と変更させていただきます。



木造薬師如来坐像（中央）

おたかの道湧水園無料公開日のお知らせ

おたかの道湧水園開園記念日と第 34 回国分寺まつりに合わせて、下記の日程で湧水園を無料公開いたします。当日は園内の資料館へも無料で見学いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

【無料公開日】

平成 29 年 10 月 18 日（水）（開園記念日）

平成 29 年 11 月 5 日（日）（第 34 回国分寺まつり）

【開園時間】 9：00～17：00（入園は 16：45 まで）

史跡ガイドボランティアによる現地説明

国分寺まつりの当日、史跡武蔵国分寺跡周辺の 4 か所で現地説明をいたします。

【日時】 平成 29 年 11 月 5 日（日） 11：00～15：00

【解説時間】 各場所とも約 20 分

【解説地点】 武蔵国分僧寺金堂跡、武蔵国分僧寺七重塔跡、国分寺楼門、真姿の池湧水群

【参加費】 無料

【集合場所】 各解説地点にあるのぼりを目印に直接お集まりください。

資料紹介 No.5 立川ローム層第Ⅹ層出土石斧群 市重要有形文化財（考古資料）

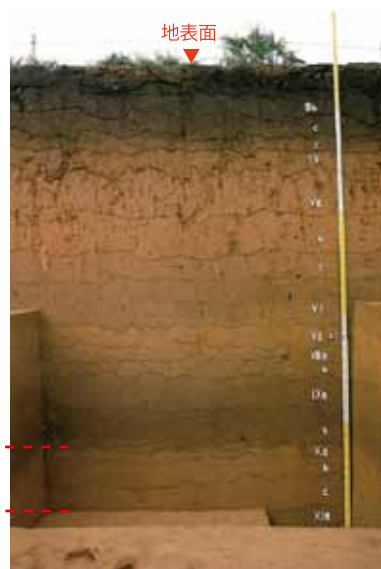
多摩蘭坂遺跡は国分寺崖線に沿い、野川の源流の一つである黒金谷の西に位置し、野川最上流部にあたります。国分寺崖線上に立地する多くの旧石器時代遺跡のなかでも代表的な遺跡であり、周辺の鈴木遺跡（小平市内）、武蔵台遺跡（府中市内）などととも旧石器時代の生活を知る貴重な遺跡として注目されています。

本石斧群は、多摩蘭坂遺跡第 5 次調査で発掘された遺物の一部で、立川ローム層第Ⅹ層から出土しました。石斧群が確認された立川ローム第Ⅹ層の旧石器文化は約 3 万 5 千年前の市内最古、日本最古級に位置づけられます。6 点のうち一番大きい石斧（写真左端）は全国的にも最大級の大きさで、長さ 25.5 cm、幅 13.5 cm、厚さ 6.6 cm、重さ 1,646.2g あります。この大型の石斧を通称“わらじ”と呼んでいます。

この石斧群の中には刃を部分的に磨いたものがあり、本体部分は打製による剥離の痕跡がある一方で刃にあたる部分には磨痕が見られます。この様な石斧を局部磨製石斧といいます。局部磨製石斧は日本では 3 万 8 千年～3 万 5 千年前に出現したと考えられています。この形態の石斧は日本とオーストラリアでのみ確認され、磨製石器の先駆けとして世界的にも貴重なものとなっています。



多摩蘭坂遺跡出土の石斧群



多摩蘭坂遺跡立川ローム層第Ⅹ層断面

浜野栄治コレクション 昆虫標本スタンプラリー展示報告

7月22日(土)から8月31日(木)にかけて教育委員会3課(ふるさと文化財課・公民館課・図書館課)連携企画「^{はまのえいじ}浜野栄治コレクション 昆虫標本スタンプラリー」を開催しました。展示会場の一つである武蔵国分寺跡資料館では7月22日から8月13日までバイオリンムシと海外のタマムシの標本を、8月15日から31日までは海外のハナムグリの標本をそれぞれ展示しました。これら2つの標本は光沢感のある昆虫を中心とした標本で、特徴として見る角度や光の加減によって昆虫の色が変わって見えます。スタンプラリーで来館した方々は標本を興味深く見ていました。



展示の様子(武蔵国分寺跡資料館)

文化財愛護ボランティア養成講座(認定式)

「平成29年度ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座」の認定証授与式を8月22日(火)に実施しました。6月から3か月間、実習も交えながら全7回の講座が行われ、史跡ガイドボランティア、文化財普及ボランティア、文化財調査ボランティアののべ35名の方を認定しました。受講者の方々には教育長から認定証が授与されました。



認定式の様子

来館者数

2009年10月18日～2017年8月末日

来館者数累計 108,878名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
8	572	26
計	572	26

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内



【電車】○JR国分寺駅下車/徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車/徒歩約15分



【バス】○国分寺市循環バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約8分
○国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車/徒歩約8分
○国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約8分

■開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日まで)
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)
一般……………100円(年間パスポート1,000円)
中学生以下……無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
 - 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



ホームページQRコード